

1 急性心膜炎を発症し、原因不明の心嚢液
2 が貯留した一症例

3
4 ○大沢秀吉 瀬瀬真有美 石田夕貴 鈴木有希子
5 (千葉労災病院検査科)

6
7 [はじめに] 今回我々は当院呼吸器内科外来受診で
8 感冒様症状を訴えた患者に対して数週間後胸痛や心
9 不全兆候を認めず心嚢液が貯留し、その後も症状が
10 改善せず心嚢穿刺をした症例を経験したので報告す
11 る。

12 [症例] 患者：66歳 男性。

13 主訴：咳、喀痰。

14 既往歴・家族歴：特記すべき事なし。

15 現状歴：平成20年7月中旬頃から感冒様症状出現。
16 近院にて感冒と診断されるも軽快せず、その後も症
17 状が続くため7月28日当院呼吸器内科を受診したが、
18 数週間しても症状の改善が見られないため8月6日
19 循環器科へ転科し、入院となる。

20 [入院時現症] 156.5cm、56Kg。血圧127/72、心
21 拍数67/分、SpO₂ 98%、意識清明。心電図正常洞調
22 律。心雑音なし。

23 胸部レントゲン写真では心拡大を認め、胸部CT
24 検査では全周性に心嚢液が貯留していた。

25 [心臓超音波所見] 左室長軸像において左室径51mm
26 とやや拡大していたが左室機能は正常。TRⅡ度。心
27 嚢液は全周性に貯留していた。

28 [結果] 本症例は入院中急性心膜炎の原因検索を行
29 ったが、明らかな原因は認められなかった。心嚢液
30 の細胞診はclassⅡだった。

31 [考察および結語] 今回の症例の急性心膜炎の原因
32 は不明だが、心嚢穿刺により症状は改善した。

33 急性心膜炎の診断には心臓超音波検査が必要であり、
34 術中の管理やカテーテル検査の緊急時の管理には特
35 にポータブル心臓超音波検査は欠かせないものにな
36 った。

37
38 千葉労災病院 検査科 0436-74-1111